

「大江山地域実行計画」の検討の進め方

ワークショップと地域別の「実行計画」の関係

● 地域のみなさんとの協働で地域の計画を策定

本市では平成27年7月に「財産経営推進計画（公共施設マネジメント編）」を策定し、約280万㎡に及ぶ公共施設の将来更新費用の大幅な増加を踏まえ、サービス機能をできるだけ維持しながら、公共施設の総量削減（ハード・ソフト費用の削減、ニーズに合った規模の更新、集約化や多機能化による見直しと未利用地の原則売却）を行うこととし、中学校区を基本単位とした地域ごとに、地域市民のみなさんと協働で、身近な施設の最適化に向け、将来のあり方を示す地域別の「実行計画」の策定を進めてきました。

また、令和元年12月には、「市公共施設の種類ごとの配置方針」※を公表しました。本方針は新潟市の公共施設の配置について、利用圏域（全市・区・地域の3圏域）と提供するサービス（地域の小規模な貸館などの17分類）に着目し基本的考え方を整理したのですが、地域を利用圏域とする施設の再配置の実行にあたっては、地域のみなさんのご意見をお聞きした上で、地域の現状にあった実行計画を策定する必要があると考えています。

ワークショップ（以下、「WS」とする）は、この実行計画を策定するにあたり、市民のみなさんと市との協働を実現するための重要な機会のひとつです。

WSなどで得られたみなさんのご意見をもとに市が検討を行い、「大江山地域実行計画」を策定します。

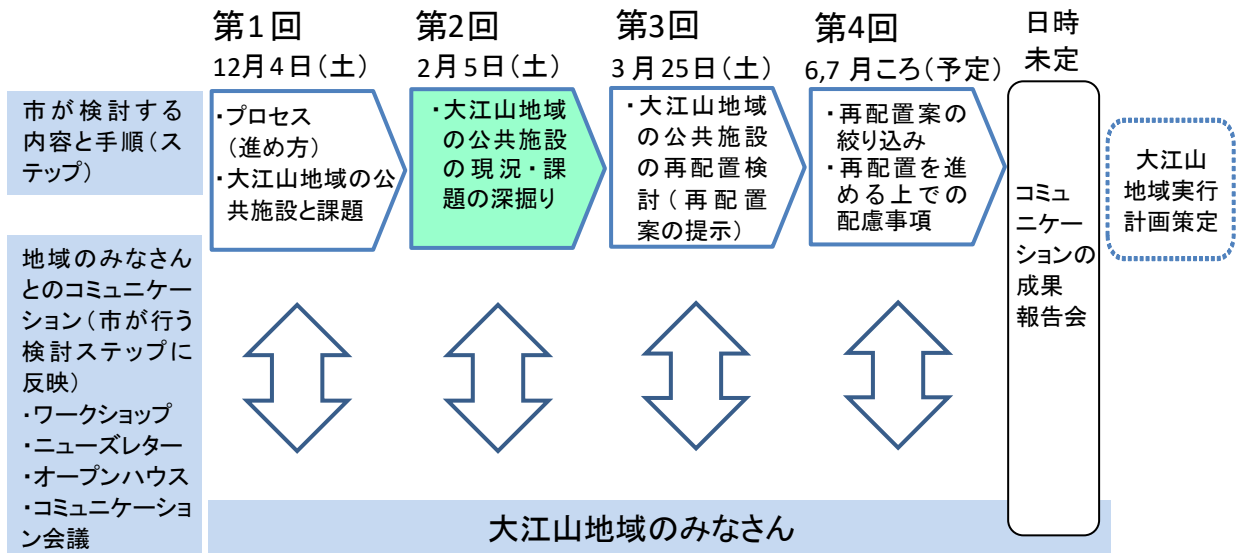
「新潟市公共施設の種類ごとの配置方針」については、各テーブルに設置しています。

※「市公共施設の種類ごとの配置方針」は市ホームページでご覧いただけます。

（市トップページで「配置方針」と検索すると表示されます）

● 検討のスケジュール（一部変更）

市は、WSを始めとする大江山地域のみなさんとのコミュニケーションで得られた成果をもとに、次の4つのステップに分けて検討を行い、「大江山地域実行計画」を策定します。



協働で行う作業

- プロセス（進め方）：はじめにWSの進め方を考えます。
- 大江山地域の公共施設と課題：解決すべき地域の課題を整理します。
- 再配置の検討：具体的で実行可能な再配置案を複数考えます。
- 再配置案の絞り込み：複数の再配置案を比較・評価し、対策案を絞り込みます。
- 配慮事項：再配置を進める上で配慮すべき事項を整理します。

これらを基に、市が大江山地域実行計画を策定します。

【変更点】

ステップを3つから4つにし、それに合わせWSを1回追加。

【変更理由】

WSでの話し合いやふりかえりシートから、みなさんから多くのご意見をいただき、よりよい地域別実行計画を策定するためには、そうした意見に込められたみなさんの想いや公共施設の課題についてさらに深掘りする必要があるため。

● コミュニケーション

「大江山地域実行計画」の検討では、地域みなさんとさまざまなコミュニケーションを進めていきます。

ワークショップ（WS）

ステップごとの検討の内容について、ご参加のみなさんの間でグループ討議によりご議論いただき、その成果をとりまとめます。

広報紙（NL：ニュースレター）

ワークショップや市の検討の状況を地域みなさんにお伝えするための広報紙です。

パネル展示型説明会

（OH：オープンハウス）

検討の状況を示したパネルを地域の施設に展示し、地域みなさんにお伝えします。

コミュニティ会議

必要に応じ、様々なコミュニティ（自治会や保護者団体など）に、事務局がお伺いし、詳しい検討状況をお伝えします。

● ワorkshop（WS）の概要

- ・ WSは、令和5年度までに4回程度開催の予定です。
第1回：12月3日、第2回：2月4日、第3回：3月25日、
第4回：6、7月ころ（予定）
- ・ 開催は、原則として土曜日午前の予定です。
- ・ 開催会場は、原則として大江山農村環境改善センターを利用します。
- ・ 事務局は、江南区地域総務課および財務部財産活用課が担当します。
- ・ WSには、大江山地区コミュニティ協議会の役員、地域内の自治会、小中学校PTA、地域内の公共施設利用団体などから推薦を受けた方や、公募に応募していただいた方などが参加します。
- ・ 同じ参加者に継続してご参加いただき、議論を深めていきます。
- ・ WSでは、ファシリテーターの進行のもと、参加者の皆さんにグループ討議で自由にご議論いただきます。
- ・ 一般の傍聴者や報道陣が会議を傍聴することもあります。

● 会議の進め方

- ・ グループ討議の運営では、円滑な議論のため、第三者的立場のファシリテーター（司会進行）がお手伝いします。
- ・ WSでは、グループごとの議論を中心に進め、会の最後に各グループの議論の結果をファシリテーターがまとめて発表し、後日、各回の成果として取りまとめます。
- ・ グループ討議の途中での議論は、発言者を特定する形での記録は取りませんので、自由闊達^{かつたつ}で前向きな議論をお願いします。
- ・ 市に対する要望・陳情の場ではありません。
(管理上の都合から会場内で録音・撮影する場合がありますことをご了承ください)

● ワークショップ（WS）の成果

- ・ 各回の成果については記録として残し、ニュースレター（大江山地域に全戸配布する広報紙）で発言者が特定されないように配慮しながらお知らせします。
- ・ WSの最終回までにまとめ上げた成果は、後日報告会を開催し、WSご参加のみなさんにご報告します。
- ・ また、まとめ上げた成果は市が「大江山地域実行計画」を策定する際の基礎情報として活用します。

(参考) ファシリテーターのご紹介

～みなさんの議論を円滑に進めるために、第三者的立場から議事進行やとりまとめをお手伝いします。よろしくお願いします。～

NPO 法人まちづくり学校

大滝 聡 代表理事 事業推進部コーディネーター

長谷川 敏栄 代表理事 事業推進部コーディネーター

金子 洋二 理事 事業推進部コーディネーター

中村 美香 事業推進部コーディネーター

横尾 文子 事業推進部コーディネーター

ワークショップ（WS）への参加にあたって

話し合いに積極的に参加しましょう

自分の考えを率直に述べましょう

前向きな思考で発言しましょう

評論家ではなく当事者として関わりましょう

他の参加者の意見に耳を傾けましょう

気持ちよく運営できるよう協力しましょう

議論や運営に貢献する姿勢を讃えましょう